

— は じ め に —

国内外の動物園を取り巻く環境や役割がレジャーなどを目的としたものから、動物福祉や生物多様性の保全などに大きく変化したことを踏まえ、基本構想に替わる新たな基本方針として、2019年（平成31年）3月に札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」を策定しました。

ビジョン2050では、「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」を基本理念とし、自然と人が共生する持続可能な社会の実現に貢献するため、開園100年を迎える2050年までの動物園の役割や野生動物に向き合う姿勢を明確にし、動物福祉を根幹に据えた飼育展示を行いながら、動物園の社会的存在意義や本来的な役割を市民や来園者に理解してもらうための活動を行うこととしています。

ビジョン2050第1次実施計画は、ビジョン2050の基本理念に基づく生物多様性の保全や環境教育などの重点的な取組を着実に実現するため、2023年度（令和5年度）までの5年間の具体的な取組をまとめるもので、定期的に、飼育動物の国内外の状況などを反映しながら見直しをしていきます。第1次実施計画は、動物福祉の向上を目指しつつ、老朽化した動物舎への対応や飼育動物の繁殖による保全への貢献、動物園に関係する人材の育成に重点を置いた内容となっており、基本理念の実現により市民にとって誇れる動物園となれるよう努めてまいります。

2020年（令和2年）3月

札幌市長 秋元克広



[目 次 Contents]

第1章 ビジョン 2050 第1次実施計画の策定にあたって…………… 1

- 1 ビジョン 2050 第1次実施計画の策定の背景と必要性……………2
- 2 ビジョン 2050 第1次実施計画の位置づけ……………4
- 3 計画期間……………5

第2章 円山動物園のこれまでの取組と今後の展開…………… 7

- 1 動物飼育と施設整備……………8
 - (1) 動物飼育について……………8
 - (2) 施設整備について……………12
- 2 来園者数の推移……………16
 - (1) これまでの来園者数……………16
 - (2) 今後の来園者数の見込み……………16
- 3 収支の状況……………18
 - (1) これまでの収支の状況……………18
 - (2) 今後の収支の見込み……………21

第3章 具体的な事業と取組の展開…………… 23

- 1 具体的な事業と取組……………24
 - (1) 「保全」を推進する事業・取組……………24
 - (2) 「教育」を推進する事業・取組……………26
 - (3) 「調査・研究」を推進する事業・取組……………28
 - (4) 「リ・クリエーション」を推進する事業・取組……………29
- 2 取組の根幹【動物福祉】を推進する事業と取組……………31
- 3 基本理念を実現するための基盤を支える事業と取組……………33

第4章 第1次実施計画の推進にあたって…………… 35

1 第1次実施計画の推進にあたって……………	36
(1) 数値目標による進行管理……………	36
(2) 来園者のニーズ把握……………	36
(3) 人材育成とチームワークの向上……………	36
(4) 持続可能な経営……………	37
(5) 市民参加の推進……………	37

資料編…………… 39

I 飼育展示していく動物種について……………	40
(1) 飼育展示動物種の分類の考え方……………	40
(2) 飼育展示動物種の分類について……………	41
II 市民動物園会議における意見交換……………	51
III パブリックコメントの実施結果……………	52

